



## フィリピンから③

マニラ日本人学校（境港市立第二中学校所属） 花田憲二

### マニラ首都圏の人口

マニラ日本人学校に日本から派遣される教員や児童生徒は、マニラ首都圏にあるタギッグ市の BGC、またはマカティーという地域に住んでいます。私は大阪府で生まれ育ったのですが、規模としては大阪を上回り、下水道の整備は日本にはかないませんが、とても近代的な都市です。マニラ首都圏の人口は1000万人を超えており、路上で生活している人々の中には、市に住民登録されていない人たちもいるそうなので、実際の人口はそれ以上になります。

### フィリピンの人々

フィリピンの人々は大変陽気な人が多く、仕事によく歌を口ずさんでいます。音楽が聞こえてくると、自然とからだが動くようで、ラテンの国々の人々のように私には見えます。昨日、このレポートを書いている時、マンションを引き払う前に、エアコンの清掃をするようにとマンションの所有者から言われたので、警備員さんのボスのような人に知り合いの業者を呼んでもらいました。1時間程遅刻してきたのですが、日本人であれば謝罪をするでしょうが、フィリピンではよくあることなので、何もなかったかのようにエアコンの清掃作業を始めました。すると、洗面所にあった私の家のタオルやバケツなどの私物を勝手に使い始め、私は驚かされました。しかし、妻にはよく見慣れた光景のようで、まったく驚いていませんでした。なぜなら、この3年間、家の何かが故障するたびに業者の人たちがやって来ては、同じような光景を妻は見ていたからです。フィリピンの人々はこんな人たちだとは、当然のことながら一言では言い表せないですが、私がたくさん出会ったフィリピンの人々は、とても親切にしてくれました。

### 生きるために

マニラ日本人学校の近くにある地元の公立小学校を訪れることができました。算数の割合の授業をしていました。使っていた言葉は英語でした。フィリピンに来るまで私は知りませんでしたが、多くのフィリピン人にとって英語は外国語です。英語は公用語ではありますが、英語が上手に話せない人々もたくさんいます。しかし、仕事をする上で英語が必要になるので、文法的なミスなど気にせず英語を使います。また、英語が苦手な外国人と接する時も、辛抱強く理解をしようとしてくれます。私も妻はまったく英語が話せませんが、何とか生活できたのも、優しいフィリピンの方々のおかげでもあります。